

飛騨市スポーツ施設整備計画見直しの方針（計画改定の概要）

【見直しの背景】

飛騨市スポーツ施設整備計画は、飛騨市スポーツ推進計画に基づき、限られた財源と投資的経費の中、既存施設の大規模維持修繕や市民等から要望のある施設整備について、計画的に整備を推進していくため、平成31年2月に策定された計画です。

しかし、令和2年には世界的な規模で新型コロナウイルス感染症が拡大、令和4年2月にはロシアのウクライナ侵攻が始まり、これらを起因とした急激な物価高騰は、市民生活のみならず飛騨市のスポーツを取り巻く環境にも大きく影響を与えることとなりました。また、「水銀に関する水俣条約」に基づく蛍光灯の2027年問題による施設照明のLED化など、喫緊の施設整備が急務となっています。

こうした社会情勢の急激な変化、計画策定後の新たな利用者ニーズ等をうけ、本整備計画についても大幅な見直しが不可欠な状況となったことから、計画の見直し、改定を行うものです。

【見直しのポイント】

今回の計画見直しにおいては、急激な物価高騰など、社会情勢の急激な変化の影響を鑑み、計画期間内（令和8年度～17年度）におけるスポーツ施設の整備事業評価は、

1. 改修整備に関する計画（大規模改修系）
2. 既存施設のLED化整備計画（LED化改修系）
3. 既存施設の維持整備計画（維持修繕系）

に振り分け、直近の利用者数や財源確保、経済・改修効果に関する事項に重点を置き、新たな要望案件も含め、再評価・優先順位付けをするものとします。

改修整備に関する計画では、**新たな施設新改築及び4億5千万円を超過する整備事業は行わないものとし**、新たに「**財源確保**」に関する評価を追加したほか、「第2期飛騨市総合政策指針」において示された公共施設の管理運営方針である「**選択と集中**」を推進するため、既存施設における評価では、「**代替性**」に関する評価項目を追加しています。

(1) 改修整備に関する計画において「財源確保」の評価項目を追加

財源確保	A	【改修】事業費の1/3以上の補助財源が見込め、かつ有利な起債が充当できる施設改修整備
	B	【改修】少額だが一定の補助財源が見込め、かつ有利な起債が充当できる施設改修整備
	C	【改修】補助財源、かつ有利な起債が見込めない施設改修整備

(2) 当初計画策定以降（令和元年度）の新規要望事業の評価を計画に追加

(3) 当初の整備計画事業の見直し評価（計画からの除外、再評価）

【計画から除外する事業】

事業名	施設種別	当初概算 事業費	見直し概 算事業費	当初計 画評価	除外理由
古川町屋内運動場新築事業	市民活動施設	428,131,000	750,000,000	I	新設事業・事業費超過
数河緑地広場人工芝布設事業	スポーツ大会・ 宿泊誘致施設	307,500,000	461,250,000	I	新設事業・事業費超過・ 要望取り下げ
流葉人工芝グラウンド整備事業	スポーツ大会・ 宿泊誘致施設	619,810,000	929,715,000	III	新設事業・事業費超過
ふれあい広場グラウンド増設事業	スポーツ大会・ 宿泊誘致施設	521,618,000	782,427,000	III	新設事業・事業費超過
旭ヶ丘プール改修事業	市民活動施設	23,500,000	35,250,000	VI	神小プールへ統合
森林公園陸上競技場改修整備事業	市民活動施設	651,000,000	976,500,000	VI	事業費超過
サン・スポーツランドふるかわ野球場 改修事業	市民活動施設	800,000,000	1,200,000,000	VI	事業費超過
森林公園宿泊棟整備事業	スポーツ大会・ 宿泊誘致施設	320,000,000	480,000,000	VI	新設事業・事業費超過
桜ヶ丘体育館トレーニング室整備事業	市民活動施設	18,000,000	—	I	整備の完了

(4) 既存施設評価の項目に「代替性」を追加

代替性	代替施設の 有無	市内・無	市内・有	町内・有	地域内・有	近傍・有	4点 満点
		4	3	2	1	0	

(5) 既存施設全体の照明 LED 化改修に係る優先順位評価（新規評価）を追加

(6) 既存施設全体の維持改修等に係る優先順位の見直し再評価（要望度も評価点に追加）

【評価の結果】

1. 改修整備に関する計画（大規模改修系） ※（）内は配点数

事業名	要望度合	事業効果	財源確保	総合評価	費用(円)
古川トレーニングセンター大規模改修事業 (再評価)	A(3)	A(4)	A(4)	I(11)	184,242,000
杉崎公園グラウンド人工芝等再整備事業	A(3)	B(3)	B(3)	II(9)	291,900,000
流葉交流広場人工芝再整備事業	A(3)	B(3)	B(3)	II(9)	345,000,000
サン・スポーツランドふるかわ電光掲示板 更新事業	A(3)	C(1)	B(3)	IV(7)	91,993,000
数河古川ラグビー場人工芝再整備事業	A(3)	B(3)	C(1)	IV(7)	345,000,000
すぱーふるトレーニング室設置事業(再評価)	B(2)	B(3)	C(1)	V(6)	120,000,000
桜ヶ丘体育館駐車場拡張整備事業	A(3)	C(1)	C(1)	VI(5)	58,545,000
サン・スポーツランドふるかわバックネット裏 スタンド屋根整備事業	A(3)	C(1)	C(1)	VI(5)	87,000,000
古川小学校グラウンド夜間照明整備事業	B(2)	C(1)	C(1)	VI(4)	32,000,000

市民活動施

スポーツ大会・宿泊委誘致施設

学校開放施設

【総合的評価の考え方】

優先度 I (10~11点)	計画に基づき、新規に進める事業
優先度 II (9点)	内容の再検討により課題を解決し、その都度、優先度を検討する事業
優先度 III (8点)	内容の再検討により課題を解決し、予算状況も考慮して優先度を検討する事業
優先度 IV (7点)	内容の大幅な見直しにより、その都度、必要性を検討する事業
優先度 V (6点)	中期的(5年)な視点で、事業の必要性等について再度検討していく事業
優先度 VI (4~5点)	長期的(10年)な視点で、事業の必要性等について再度検討していく事業

2. 既存施設のLED化整備計画(LED化改修系)
(照明LED化改修優先度評価)

[illegible]

3. 既存施設の維持整備計画 (維持修繕優先度評価)

No	施設名	要望事業名	採点							
			利用度		代替性	要望度	健全性		経済性	総点数
			利用者数	利用者 範囲	代替施設 の有無	要望度 合い	耐震 必要度	劣化度	維持管理	
1	古川トレーニングセンター	大規模改修(LED・アリーナ・トイレなど)	4	4	4	4	3	3	2	24
2	桜ヶ丘体育館	柔剣道場空調・排水設備・駐車場拡張	4	4	4	4	3	1	2	22
3	杉崎公園グラウンド	人工芝再整備・コンテナハウス・堤防階段設置	4	4	3	4	-	3	3	21
4	サン・スポーツランドふるかわ	電光掲示板・スタンド屋根	3	4	4	4	2	2	2	21
5	サンビレッジ神岡	屋根塗装工事	3	3	4	2	3	2	3	20
6	宮川アリーナ	駐車場舗装・屋根塗装工事	2	3	3	2	2	2	4	18
7	飛騨かわいスキー場		4	4	3	2	2	1	1	17
8	森林公園(野球場・陸上競技場・キャンプ場・テニスコート)		3	4	4	0	1	1	3	16
9	角川屋内運動場		2	3	3	0	3	0	4	15
10	宮川市営プール・管理棟		0	2	3	0	3	2	4	14
11	古川町黒内屋内運動場		2	2	3	0	3	0	4	14
12	河合市営プール及び管理棟		1	2	3	0	2	2	4	14
13	釜崎屋内ゲートボール場		1	2	3	0	2	2	4	14
14	稲越運動広場		2	3	3	0	-	1	4	13
15	釜崎社会体育館		2	2	1	0	2	2	4	13
16	宮川スポーツ公園施設		1	3	3	0	2	2	2	13
17	稲越健康管理センター		0	3	2	0	1	2	4	12
18	坂巻公園野球場		2	3	3	0	-	1	3	12
19	山田体育館		1	1	2	0	2	2	3	11
20	坂下体育館		1	1	2	0	1	2	4	11
21	元田体育館(レジェンドあすか)	体育館屋根塗装、給排水設備、屋上防水	0	1	0	2	1	3	4	11
22	増島児童公園グラウンド		0	1	2	0	-	1	4	8
23	元田運動広場		0	1	2	0	-	1	4	8
24	神岡東グラウンド		1	1	1	0	-	1	4	8
25	杉崎ゲートボール場		0	1	1	0	-	1	4	7

4. 飛騨市スポーツ施設整備計画改定委員会の設置

今回の計画見直し、改定にあたっては、新たな検討委員会を組織し、大幅な計画の見直し、改定を行っています。

- ・改定委員：8名（スポーツ関係者、有識者）
- ・アドバイザー：2名（建築住宅課、まちづくり観光課職員）